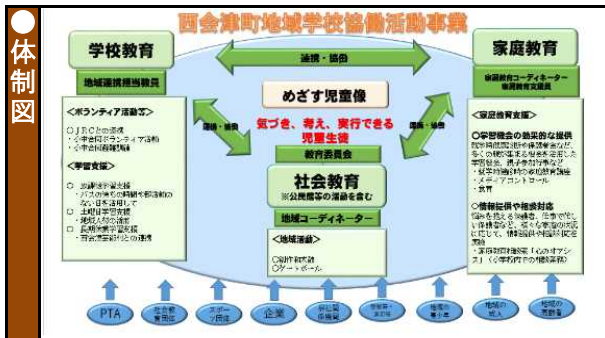


こんな活動です

学校と地域が一体となって子どもを育てる環境づくり

福島県西会津町		●活動名	西会津町地域学校協働本部		●関係する学校名	西会津町立西会津小学校 西会津町立西会津中学校	
協働活動開始年度	平成29年度	関係学校数	2校	のべ学級数	18学級	のべ児童生徒数	310人
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習		—		
	地域未来塾		放課後子供教室		外部人材を活用した教育支援活動		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	—		—		3人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	
	平成32年6月1日設置予定		—	110人	—	—	
参考URL	http://www.town.nishiaizu.fkushima.jp/						
●連絡先	西会津町教育委員会 生涯学習課			☎ 0241-45-3244			



●活動の概要・経緯

西会津小学校は、平成24年4月1日に5校が統合され設立された。それに伴って、町には小学校1校、中学校1校となった。また、両校とも同じ敷地にあるということもあり、日常的に小・中の連携が図られている。学校支援事業は平成21年度から、放課後子供教室事業は、平成24年度の学校統合に伴い、5教室を1教室に統合した。さらに、29年度から「地域学校協働活動事業」を開始し、推進委員を26名委嘱し地域活動・ボランティア活動、学習支援活動、家庭教育支援活動に取り組んでいる。

地域活動・ボランティア活動では、双方の要望から中学生が地域のゲートボール協会のお年寄りに指導を仰ぎながら活動している。学習支援活動では、地域の方が講師となって、主に長期休業中や土曜日に教科指導、さらには絵画指導を行っている。家庭教育支援活動では、小学校の一室を活用して家庭教育相談室を開設し、「気軽に訪問できる場所」をモットーに日常的に家庭教育支援を行っている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ① 今までになかった太鼓集団を結成し、様々な町イベントのアトラクションとして演奏を発表するまでになった。(町民10名、中学生12名で結成)
- ② 中学生と地域のゲートボール協会との交流から始まった活動が、全国大会出場を果たすまでになった。何より、お年寄りが、いきいきとしている。
- ③ 夏季休業中に小学生を対象に学習会を開催した。また、スポ少、部活動で忙しい小中学生を対象に土曜日学習会を開催し、休業中の宿題を中心に、絵画や作文の書き方についても支援を行った。
- ④ 「気軽に訪問できる場所」をモットーに、家庭教育相談室を開設した。
- ⑤ 定期的に家庭教育講座(就学時健康診断講話)やイベント(小学校見学ツアー、手打ちうどん教室)を開催した。また、家庭教育年間カレンダーを作成し、多くの町民が参加できるようにしている。

【実施に当たっての工夫】

生涯学習課職員、地域コーディネーター、地域連携担当教職員、家庭教育コーディネーターが、週に1回定期的に話し合いの場を設け、つねに連携を図っているため、学校の要望や地域住民の要望に対してすぐに対応できている。また、運営委員会(推進委員会)の中に、地域活動・ボランティア活動部会、学習支援活動部会、家庭学習支援活動部会ができ、それぞれが部会を開くなど、地域住民が自主的に活動するようになってきた。そのため、全体ではなかなか吸い上げることができなかった活動案が多数出てくるようになった。さらに、家庭教育支援活動では、小学校の一室に設けられた家庭教育相談室は、公的な相談窓口とは違い気軽に何でも相談できる空間となっており、お茶飲み話だけでストレス解消されて帰る町民の方もいる。今後は、「届けたいところに届かない」という課題の解決のために、子育て中の保護者が働く企業へ向いて家庭教育教室を行う。本町の特色の一つであるケーブルテレビを活用し、町民に本事業の趣旨の周知や活動の報告をし、情報の共有を図るとともに、事業への参画を呼びかけている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 生涯学習課職員、地域コーディネーター、地域連携担当教員が連携を密にすることによって、各事業の連絡・調整の一元化が図られ、より広く地域の教育資源の情報共有が可能になり、双方向の協働体制が構築された。
- 子供たちの体験活動は、学校内で味わえない経験と成就感を得ることができた。さらに、地域の方々と交流しながらの体験活動は大変貴重であり、町の本事業の目標でもある「コミュニケーション能力の向上」にかなり役立っている。何より、創作太鼓、ゲートボール、地域ボランティア活動を通して地域が活性化している。
- 学習支援活動をとおして、子供たちがやる気を出してきた。また、地域の講師の方々が、生きがいになっている。

●その他

きっかけは交流学習。ゲートボール協会の方からの「もっと子供たちと一緒に活動したい。」の声から、中学生から希望者を募りゲートボールチームを結成。合い言葉は、「目指せ！全国大会」。子供たち以上にお年寄りの方々がいきいきしてきており、地域の活性化に繋がっている。



ゲートボール大会の指導を受ける子供たち



家庭教育コーディネーターによる就学時健康診断